	节和3年段 棘7分甲事物争来許伽衣(争夜)(標準許伽衣)	<u>' </u>										
事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額 経費						
学 切学术 1	工女巾但正備事术	一般	8	2	3	0						
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	都市活動を支える交通網整備を進めます 道路河川										
施策	担当課室長	松區	3	§樹								
I 改革·改善内容(=	I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)											
① 前回 国の交付金を活												

①前回の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。事業債活用のため、市道修繕調査を実施し、修繕計画を策定する。
②①に基づく取組み続果
は会資本整備総合交付金を活用し、用地取得、簡易舗装による保全工事、市道修繕調査を実施した。

③令和3年 度に取組む 改革・改善 内容 国の交付金を活用し事業を進める とともに、用地取得済個所について は簡易舗装を行い、歩行者空間を 確保する。

事業債活用のため、市道修繕調査 を実施する。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

	①目的			意図(対象をどう するのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。				
	②事務事		安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線 形改良、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。						
③環境分析(事業開始 事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となって なかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。									

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業 の成果		主要市道の用地を取得し、簡易部 市道14号線歩道整備工事(L=14r 用地取得(A=98㎡)	ii装に。 n)、市	よる保≦ 道20号	全工事を 線構造	を実施し :物等撤	ンた。 対去工事、市道22号線
②成果		指標名称		令和元 年度	令和2 年度	単位	算定根拠

	乙以朱				平 及	干及	干及				
	を表す	i	エュ	事延長	583	243	14	m	業務耳	汉得	
指標		ii	工事延長【平成	23年度からの累計	7,999	8,242	8,256 m		業務耳	汉得	
		iii	「道路の状	況」不満足度	65.7 -		_	%	市民意	意識調査	
(3事務事	事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算			事業費	()の主	な内訳	令和3年度	予算
1	事業費(-	千円)	108,182	80,609	金額(千			内容		338	,466
Γ	国支出	出金(千円)	46,604	34,656		39,655				154	,576
ı	県支出	出金(千円)	0	0		14,265					0
ı	市債	その他(千円)	41,900	33,400		9,429	用地購	人費		156	,800
ı	一般則	け源(千円)	19,678	12,553	•	6,282	物件部	直 費		27	,090

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)		市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員 や舗装構成になっていない。									
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		3高い 3高い	v 総合評価	7拡充					
③上記評価の理由	11111		」不満足度を下げ		市道の整	備は不可欠					

①令和2年度の計画	歩道整備工事、市道22号	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	線、物件補償、用地取得	計画事業費	予算額			决 算額			
②計画に対する事業実績	歩道整備工事、市道22号			当初	192,825		R1から	22,028	
(公司四)に対りる事未夫禎	線、物件補償、用地取得	141,510	217.250		22,193	80.609	の繰越	22,020	
③達成状況	未完了	141,510	317,330	補正	102,200	80,009	現年分	58,581	
④未完了·非着手の理由	用地取得に係る業務が年度				132			30,361	
サイボ」・折眉十の珪田	内に完了しなかったため。	令和3年度への	繰越額(単	位;千円)				157,787	

事務事業名	交差点改良事業	会計	款	項	目	多額 経費	
学 切学术句	大 左派战戍争未	一般	8	2	3	0	
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	的河川	整	備課	
施策	施策 安全でゆとりある道路の整備						

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回	
で掲げ	交差点の安全性を早期に向上させるた め、工事予定箇所の早期発注を行う。
た内容	
②①に 基づく 取組み	市道22号線交差点改良事業に伴う用地 購入等を行った。

③令和3年度に取組む改革・改善内容

交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注 を行う。

33,100

7,801

Ⅱ 事務事業の目的・概要

結果

	①目的	対象			交差点の改良による安全性の向上・交 通渋滞の緩和			
	②事務事	2 2 //\ 704 111	安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点 形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。					
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 本交通量の増加に伴い、渋滞が発生している交差点がある。								

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

	①令和2 の成果	2年度の事業	市道22号線交	市道22号線交差点改良事業に伴う用地購入等(A=303㎡)を行った。									
	②成果		指标	票名称			令和元 年度	令和2 年度	単位		算定根拠		
ı	を表す	i	エ事実施	適所(累計)		5	7	7	箇所	業務耳	7得		
ı	指標	ii	「道路の状	況」不満足度		65.7		_	%	市民意	意識調査		
ı		iii											
		事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年月	ま決算(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予算		
ŀ	事業費(-	千円)	41,488	17,895	VIT	金額(千	一(円)		内容		85,905		
国支出金(千円)		出金(千円)	14,082	8,703				3 用地購入費		45,00			
ı	県支と	出金(千円)	0	0			5.529	物件部	香		0		

6,300

2,892

Ⅳ 評価・検討

市債その他(千円)

一般財源(千円)

①課題(目的に対する現状など)	幅員が狭く見追	員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。									
②評価	i市関与の妥当性	_ · · ·		3高い	v 総合評価	 7拡充					
© 2 11111	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		J					
③上記評価の理由	交差点改良の ため。	要望が多く、市	民の安全のため	早期に交差点	改良を行う	必要がある					

2,326 物件補償費

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

10,300

①令和2年度の計画	交差点改良工事、物件調査	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	委託	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績	物件到本禾詳			当初	64,013		R1から	10.299	
○計画に対する争未天積		61 882	Q7 ■ 7/1010 ■	R1⇒R2繰越	10,299	17.895	の繰越	10,299	
③達成状況	未完了	01,002		補正	0	17,095	現年分	7,596	
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度			流用·充当	0		55 千刀	7,390	
サイボ」・非個十の理由	内に完了しなかったため。	令和3年度への繰越額(単位;千円)			30,3				

事務事業名	務事業名 一般市道整備事業				目	多額 経費
争物争未有	议 印 但 臣 佣 尹 未	一般	8	2	3	0
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	各河丿	整	備課
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松區	3	§樹	

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

で掲げ	事業効果の高い一般市道を選定し、効率
た内容	的に工事を実施する。
型の組み	市道3315号線の冠水対策のため排水整 備工事を発注した。市道2107号線の用地 測量を実施した。

③令和3年 度に取組む 改革•改善 内容

平成30 令和元 令和2 | 出人

事業効果の高い一般市道を選定 し、効率的に工事を実施する。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

	①目的	対象	一般市道	意図(対象をどう するのか) 安全でゆとりのある道路				
	②事務事業の概要 道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性 生活環境の向上を図る。							
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 生活道路となる一般道路が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があ す。住民の生活環境が向上するよう本事業を推進する。								

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業 市道3315号線、市道3691号線排水整備工事を実施した。 の成果 市道2107号線用地測量委託

②成果			指村	票名称	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算定根拠
	を表す	i	工事延長			189	99	m	業務耳	仅得
	指標	ii	工事延長【平成	L事延長【平成23年度から累計】			3659	m	業務耳	仅得
		iii	「道路の状	況」不満足度	65.7	_	_	%	市民意	意識調査
(3事務	事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年原	度決算(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予算
-	事業費(千円)	30,434	16,655	金額(=	F円)		内容		46,247
	国支	出金(千円)	0	1,565		2,534	市道2107号線用地測量委託		測量委託	4,313
	県支	出金(千円)	0	0	8,927		市道3315号線排水整備工事		整備工事	0
	市債	その他(千円)	15,600	12,100		3,300	市道3812	号線道路	整備工事	34,200
	一般!	財源(千円)	14,834	2,990		1,298 市道3691号線排水整備工事		7,734		

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対す る現状など)	道路排水施設	路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性		iii公平性	3高い	v 総合評価	 7拡充	
	│ⅱ 有効性	3高い	│iv 効率性	3高い		7 1/4 / 6	
③上記評価の理由	市民意識調査である。	「民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可り					

①令和2年度の計画	排水整備、道路改良、用地	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	測量	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績排水整備、用地測量				当初	33,582		R1から	3,831	
	孙允罡阴、历地则里 	33,582 38,09	20 006	R1⇒R2繰越	4,015	16.655	の繰越	3,031	
③達成状況	未完了				補正	0	10,000	現年分	12,824
0未完了・非着手の理由 市道3812号線道路改良					499		55 千刀	12,824	
サイボ 丁 非相子の理由	をR3年度に繰越したため	令和3年度への繰越額(単位;千円)			10,70				

		令和3年度 鎌ケ谷市事務事事	業 言	平価表(事後)	(標進評価表)	ı				
事系	务事業名	私道整			YEAR THE PARTY	会計	款 8	項 2	3	多額経費
	 政策	都市活動を支える交	通	 網整備を進め	 ます	担当課室	Ě			 備課
	施策	安全でゆとりあ				担当課室長	松區	司 孝	§樹	
	• 改善内容(=	=事務事業をより良く実施する	たと	めの方策)						
①のでた ②基取結回価げ容にくみ	し利用者の利	○私道整備工事を早期に発注 利便性を向上させる。────────────し利用者の利便性を向上させ		③令和3年 度に取組む 改革・改善 内容	、申請のあった際には早期に私道 備工事を発注しすることが出来る う、利用者と調整を行う。					
	事業の目的・	·概要								
①目的	対象	私道	_	図(対象をどう るのか)	舗装整備工事	、舗装信	修繕.	工事	を行	う。
②事務事業の概要 未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を行い、地域住民の 境の向上を図る。					主民の	利便	性と	生活	5環	
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を が見込み・市民意向など) 事業開始当初は多くの私道が未舗装区間が少なくなってきた。						及				
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況								
① 令和2	①令和2年度の事業 舗装整備工事を実施した。									

	令和2 成果	年度の事業	舗装整備工事 整備工事(L=2								
2	成果			指標名称			令和2 年度	単位		算定根拠	
を	表す	i		事延長		4 140	254	m	業務耳	汉得	
指	標	ii	工事延長【平成	は23年度から累記	†】 1,57	5 1,715	1,969	m	業務即	文得	
		iii	「道路の状	況」不満足度	65.	7 –	_	%	市民意識調査		
3	事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年	度決算	(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予	算
事	業費(=	千円)	3,070	9,503	金額(内容			0
	国支出金(千円)			9,503	舗装園	を備工	F		\Box		
	県支出金(千円)										
	市債そ	での他(千円)									
	一般財源(千円)		3,070	9,503							0

IV 評価·検討

		、道舗装整備要綱を見直し、補修工事についても実施することになったことから、こ 制度を広く市民に周知すること。				
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	2普通 2普通	iii 公平性 iv 効率性	2普通 2普通	v 総合評価	6精査・検証
3 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	道路は市民生	 活に必要不可ク	アであることから、	事業を進めて	こいく必要な	· あるため。

①令和2年度の計画	私道組合(舗装整備工事、舗	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	装補修工事)	計画事業費		予算額	į		決算額	į	
②計画に対する事業実績	私道組合(舗装整備工事、舗			当初	11,240		R1から	0	
	装補修工事)	9.503	10.873	R1⇒R2繰越		9,503	の繰越		
③達成状況	完了	9,505	10,673	補正		9,303	現年分	9,503	
4未完了・非着手の理由				流用·充当	-367		55 千刀	9,503	
サイボ」・作用于の理由		令和3年度への繰越額(単位;千円)		0					

	会計	款	項	目	多額 経費
便于如 正 佣予未 	一般	8	2	3	0
人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路	的河川	整	備課
児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	松區	司 秀	§樹	
	通学路整備事業 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	通学路整備事業 一般 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります _{担当課室}	通学路整備事業 -般 8 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります 担当課室 道路	通学路整備事業一般82人間性豊かな子どもの育成環境をつくります担当課室道路河J	通学路整備事業 一般 8 2 3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります 担当課室 道路河川整

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

	71
	優先順位を見極めながら、用地取得を進 めていく。
②①に 基づく 取組み	市道1号線の用地取得を行った。

③令和3年 度に取組む 改革・改善 内容

度に取組む 優先順位を見極めながら、用地取 改革・改善 得を進めていく。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

結果

	①目的	対象	 通学路に指定されている市道	意図(対象をどう するのか)	児童生徒が安全に登下校できるように する。				
	②事務事業の概要		児童・生徒が安全に通学できる おける安全性の向上を図る。	るよう、歩道のない	い通学路に歩道を整備し、登下校に				
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)			平成24年度に実施した緊急合同点検により対策が必要な通学路を抽出し、通学路 の拡幅や歩道を確保し登下校時における児童生徒の安全を図る。						

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

)令和2)成果	2年度の事業	市道1号線の物	物件補償と用地	取得	寻(A=1	,046m²)を実旅	した。			
	0成果		指标	票名称		平成30 年度		令和2 年度	単位		算定根拠	
	表す	i	学校災害	子件数の割合		5.7	4.8	4.8	%	業務取得		
	信標	ii	事業費【平成24	4年度からの累				291,355	千円	決算書	<u> </u>	
		iii	工事延	長【累計】		115	115	115	m	業務耳	文得	
	事務事	事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和	和2年度	ま決算(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予算	
哥	業費(=	千円)	67,459	96,339	á	全額(千	一円)		内容		101,364	
	国支出	出金(千円)	29,565	50,130			65,368	物件補償費			46,920	
	県支出	出金(千円)	0	0			19,480	用地購	【 入費		C	
	市債そ	その他(千円)	21,800	39,900			7,270	物件調	計 查費		34,500	
	·								- AT/ L -	1		

Ⅳ 評価·検討

一般財源(千円)

①課題(目的に対す る現状など)	道路の拡幅等 応せざるを得な		間を要する要望に	対しては、まで	ずは代替的	な対策で対	
②評価	i 市関与の妥当性			3高い	v 総合評価	 7拡充	
<u> </u>	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い			
③上記評価の理由 児童・生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要があるため。							

3,531 不動産鑑定費

19,944

6,309

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	市道1号線用地取得、市道	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	49号線用地測量	計画事業費		予算額	į	決算額			
の計画に対する事業宝績	市道1号線用地取得			当初	82,162		R1から	70.701	
	印度「与脉角地以传	32,000	32.000 153.0			70,908	96.339	の繰越	70,701
③達成状況	未完了		155,070	補正	0	90,559	現年分	25,638	
④未完了·非着手の理由	用地測量業務が年度内に完			流用·充当	0		5年71	23,030	
サイル 1	了しなかったため	令和3年度への繰越額(単位;千円)					53,957		

	,	令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	集評	平価表(事後)	(標準語	平価表))				
事系	務事業名		河川∙水路	來	備事業				会計	款	項	目	多額 経費
· · ·	77 A L		7,17,1 71,12,1	1 115	, Mm				一般	8	3	3	0
	政策	4	央適な暮らしの?	環均	竟をつく	ります			担当課室	道趾	各河	川整	備課
	施策		うるおいある河	JI •	·水路の	整備			型				
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=&	<u>りの方</u> 第	〔 〕			•				
①前四のでは で内で で内で ②①で を でして を が が が が は り が り が り が り が り が り り り り り	付いた段階で 松戸市が実施	未定であるが、 で、整備方針等の をする紙敷川改 でする負担金をする	の検討を行う。 :修事業におい		③令和 度に取 改革・ 内容	組む]して、 :進める		• 가	〈路 <i>0</i>	D整
結果			сш оле										
Ⅱ事務	事業の目的・						1						
①目的	対象	主要な水路 その他の水路			図(対象 るのか)	対象をどう 浸水被害の軽減 か) 隣接家屋等の安全性確保							
②事務事	事業の概要		記設の確保及び)機能確保のた										
からの状況 見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 記込み・市民意向など) Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況					整備が	進むと、	市域の	河川施				
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①令和2 の成果	生度の事業	松戸市主体に。 地取得を(A=3	より実施してい。 31. 1㎡)実施し			改修事	業にお	らいて、	詳細部	計	委託	及び	が用
2成果			票名称		平成30 年度	令和元 年度	年度	単位		算定根拠			
を表す	i		暫定改修実施	•	6.5				業務即				
指標	iii		Dmm/hr改修実施 (河川水路)	平		2.6			業務耳 業務耳				
②車扱す	III 業のコスト			31.9 31.9 31.9 ha 令和2年度決算(事業費)の3						ПО	- 由	3. 笛	
事業費(=		3,721	651				· 于 木 只 	<u>/ 0/ </u>	3 P 3 D/C	ן ון	ДО-		5.116
	出金(千円)	5,721	001	金額(千円) 内容									
	出金(千円)												
	その他(千円)											8	3,500
	才源(千円)	3,721	651									(3,616
Ⅳ 評価	i•検討												
	①課題(目的に対す 下流河川の整備の目安がつる現状など) た整備に取り組めていない。				いない	ため、	1時間あ	うたり5	0mm(の降	雨	こ対ル	応し
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価		7拡	充
③上記記	呼価の理由		有効な事業で 必要があるため		ることか	ら、費	用対効	果を考	慮した	暫定	改值	修に	つい
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におい	おける達成状況									
		紙敷川改修負					度事業 予算額		況(単		千円:算額		
	対する事業実績	紙敷川改修事 委託及び用地	取得		1.020	1,020	当初 R1⇒R2繰越	1,020	651	R1:	から 操越		0
<u>③達成</u> 物	大況	完	7		1,020	1,020	補正	0		現年	年分		651
ルナウフ	・非着手の理由						流用·充当	0					

令和3年度への繰越額(単位;千円)

0

		令和3年度 鎌ケ谷市事務事	<u>集評</u>	平価表(事後)	(標準評価表))				
事務	务事業名	準用河川	全 準用河川整備事業 -					項 3	3	多額経費
	 政策	快適な暮らしの	らしの環境をつくります							 備課
	施策 うるおいある河川・水路の整備					担当課室長	松區	司 孝	§樹	
I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)										
①前回 の評価 で掲げ た内容	浸水被害軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。 3令和3年度に取組ま、浸水被害の過				『の軽減のため、整備は現 「能な最も効果のある箇所					
②①に 浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や 基づく 浸水被害等のデータを基に予算の範囲内 取組み で整備可能かつ効果のある箇所について 結果 選定した。			改革·改善 内容	の選定を行う		7 1未(<i>.</i> 700	る店	דעיו ני	
Ⅱ 事務事業の目的・概要										
			図(対象をどう るのか)	浸水被害の 隣接家屋等		全性	確保	:		
				!						

①目目	的	对家	準用河川 	するのか)	隣接家屋等の安全性確保				
②事	務事		流下能力の向上と護岸の保護のための暫定改修や、1時間あたり50mmの降雨 に対応した河川の改修を行う。						
からの	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)		川の施設能力を超えるようにな	なった。下流側の	により、雨水の流出量が増加し、河 整備が進んできている場所もあり、 て浸水被害はあり、要望等が多い。				
Ⅲ 事	務	事業の成果や	やコストの状況						

1	単 事 狩	事未の风呆	ピコストの认法									
	①令和2 の成果	年度の事業	・準用河川二和]川バイパス整(]川護岸改修工]川の物件補償	事を	実施し	った。(1	_=61.	5m)		ōm³)	
	2)成果		指植	票名称			令和元 年度	令和2 年度	単位		U	
	表す	i	修実施率		21.9 21.9 22.5 % 業務					7得		
ŧ	旨標	ii	50mm/hr改修実施率			11.4	11.4	11.4	%	業務耳	7得	
		iii	浸水面積(1級	┆河川、準用河川	II)	81.5	81.5	80.9	ha	業務耳	以得	
		業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算				事業費)の主	な内訳	令和3年	度予算
H	事業費(=	千円)	298,396	497,290	钳	金額(千円)		内容				561,967
	国支出金(千円)		64,300	108,700			70,644	準用河川二和.	川バイパス整備	前(第5期)工事		70,713
	県支出金(千円)					1	18,582	準用河川二和.	川バイパス整備	航(第6期)工事		
l	市債その他(千円)		210,388	154,811		100,874		準用河川二和川護岸改修第32期工事		第32期工事	工事 209,40	
	一般則	才源(千円)	23,708	233,779								281,854

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)			原則であるため、 無いよ う 実施する		も効果のあ	る箇所を選			
②評価	i 市関与の妥当性	3高い		3高い	v 総合評価	7拡充			
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		/ 1/4 / 6			
③上記評価の理由 浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあるため、速やかに河川 改修を行う必要性があるため。									

	7 5 0	/n # + # + p + # /k /		
V	多紹(/)	経費を要する事業等()「実施計画」における達成状況	

①令和2年度の計画	二和川整備及び二和川護岸	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 17412年度の計画	改修	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績	二和川バイパス整備、二和			当初	401,667		R1から	131,843	
	川護岸改修及び物件補償、	631,885 76	621 005	31.885 766.172	R1⇒R2繰越	131,848	407 200	の繰越	131,043
③達成状況	完了		031,000 /00,172	補正	230,218	497,290	現年分	365.447	
④未完了・非着手の理由				流用·充当	2,439		55.	303,447	
サイボ」・非個子の理由		令和3年度への繰越額(単位;千円)				253,075			

事務事業名	地域排水整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
学 勿学未 つ	心似外外走佣尹未	一般	8	3	3	0
政策	政策 快適な暮らしの環境をつくります		道路	阿川	整	備課
施策	うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	松區	引列	§樹	

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

	<u> </u>
①前回 の評価 で掲げ た内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で 可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に 基づく 取組み 結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や 浸水被害等のデータを基に予算の範囲内 で整備可能かつ効果のある箇所について 選定した。

③令和3年 度に取組む 改革・改善 内容

浸水被害の軽減のため、整備は現 時点で可能な最も効果のある箇所 の選定を行う。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的	対象	THT TOU JAIL 7K KIM =44	意図(対象をどう するのか)	浸水被害の軽減					
②事務事	= == // \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。						
からの状況			ようになった。今後	こより、雨水の流出量が増加し、接続す 後、下流整備の進捗により、市域の河川 と水被害はあり、要望等が多い。					

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業 の成果		年度の事業	・鎌ケ谷二丁目地区(5期):38.6m、鎌ケ谷八丁目地区:12m、東道野辺七丁目地区:10.5m、中央二丁目地区:浸透桝設置2箇所の地域排水整備工事を実施した。 ・雨水浸透桝設置モニター工事にて雨水浸透桝を15基設置した。							
	②成里		指標名称	平成30 年度		令和2 年度	単位	算定根拠		

2	成果			票名称		半成30 年度	令和元 年度	年度	単位		算定根	拠
を	表す	ï	整備工事完	了·着手箇所数		22	24	25	箇所	業務耳	汉得	
指	旨標	ii		(地域排水)		10	10	9.3	ha	業務耳	汉得	
		iii	浸透桝	設置基数		7196	7265	7347	基	業務耳	汉得	
3	事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年月	ま決算(事業費)の主	な内訳	令和3年	F度予算
事	業費(न	千円)	130,091 50,689		YI	金額(千円)		内容				66,190
	国支出	出金(千円)	0				28,617	鎌ケ谷二丁目地	区地域排水整	備工事(第5期)		0
	県支出	出金(千円)	0				832	雨水浸透	舛設置モニ	ター工事		0
	市債そ	その他(千円)	66,000	42,200			•					24,300
	一般則	す源(千円)	64,091	8,489			•					41,890

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対す る現状など)	122 2 10 10 1 1		道路冠水や浸水 ければならない。	被害等のデー	タを基に整	備可能且
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		3高い 3高い	· v 総合評価	7拡充
③上記評価の理由		て有効な事業でめる必要がある	であることから、放 るため。	な流先の整備?	 伏況や費用	対効果を考

①今和2年度の計画	鎌ケ谷二丁目及び八丁目、東道野辺五丁目及 び七丁目、初富字林跡及び字五本松、、中央	令	·和2年	度事業	費の状	況(単	位;千円)	
① 7 和2 千度の計画	二丁目、浸透桝モニター。	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績	鎌ケ谷二丁目及び八丁目、東道野辺五丁目及 画に対する事業実績 び七丁目、初富字林跡及び字五本松、、中央			当初	76,286		R1から	8,624	
	二丁目、浸透桝モニター。	76.286		R1⇒R2繰越	8,624	50.689	の繰越	0,024	
③達成状況	未完了	70,200	02,171	補正	0	00,000	TR /= /\		
	東道野辺五丁目地区地域排水整備詳細 設計委託、初富字五本松地区地域排水			流用·充当	-2,439		現年分	42,065	
サイル ディーディーの 生田		令和3年度への	繰越額(単	位;千円)		25,5			

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	集評価表(事後)	(標準語	平価表))				
事系	务事業名		雨水貯留流	也整備事業	É			会計	款	項	目	多額 経費
3 - 32	20 1 VK E		11371773 1247	311 Mil 1 2				一般	8	3	3	0
	政策	1	央適な暮らしの ³	環境をつく	ります			担当課室	室 道路河川整備課			
	施策	,	うるおいある河	川•水路σ	整備			担当課室長	松區	3	§樹	
	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため <u>の方</u> 第	策)							
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	評価 浸水被害の軽減のため、整備は現時点で 掲げ 可能な最も効果のある箇所の選定を行う。 内容				D3年 双組む 改善	に事業	を完了	怪減を[?させる				
基づく 取組み 結果	を行った。	留池整備事業に	子(伴う用地取得	内容	取得を進める。							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要					_					
①目的	対象	雨水貯留池		意図(対象 するのか)	をどう			との調整 で抑制				
②事務事	事業の概要	大雨時における	る流出抑制のた	:めの貯留	池整備	を行う	0					
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 認の将来形での整備が可能となる、依然として浸水被害はあり、要望等が多い。							Ⅱ施					
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
①令和2 の成果	2年度の事業	串崎新田貯留	池整備事業に係				09 m²)	を行っ	た。			
②成果			票名称	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算되	⋛根	拠	
を表す	i ii		<u>の暫定整備率</u> 池の整備率	87.5				業務耳 業務耳				
指標	iii		<u>他の登頒率</u> 曾量	57.1 43.520		57.1 43,520		<u>未務</u> 明				
③事務事		令和元年度決算			,	. ,				03年	·度	予算
事業費(-		53,224	31,865				内容				57	7,430
	出金(千円) 出金(千円)				28,496	串崎新田	貯留池月	H地購入				
	<u>□ 金 (千円)</u> その他(千円)	37,900	29,300			-					34	1,800
	才源(千円)	15,324	2,565									2,630
Ⅳ 評価												
①課題(る現状な	目的に対す	浸水被害の軽さい。 つ効果のあるは	減を図るため、 場所を選定しな			被害等	のデー	-タを基	に整	備「	可能	且
②評価			3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合			7拡3	
	平価の理由	放流先の河川(あるため。				で、貯留	習池整備	備は有	効な	治力	K対:	策で
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画」におり			ch = All	# 6 U	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	/			
①令和2	2年度の計画	用地購入、詳絲	田設計委託	計画事業費	和2年	度事業 予算額		况(単		F円 算額		
						当初	44,074		R1 <i>t</i>	hin		0
	対する事業実績			44 074	44 N7 <i>4</i>	R1⇒R2繰越	0	31 865	の糸			
③達成物		用地取得 未完 事崎新田貯留	_	44,074	44,074		 	31,865		繰越_	31	1,865

事務事業名	 都市計画道路3·4·5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
サのサネク 印川川 四垣町3・4・3号加橋及旅丁ハイハへ稼篭 棚手			8	4	3	0
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	的河川	整	備課
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松區	司 孝	§樹	

I 改革·改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

の評価 で掲げ た内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を 進める。
②①に 基づく 取組み	事業主体である千葉県と連携を図った。

③令和3年 度に取組む 改革·改善 内容

用地に関する情報について、千葉 県と情報共有を図りながら、効率的 に用地取得を進める。

結果 Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3·4·5号線	意図(対象をどう するのか)	整備することで交通の利便性を向上 とで交通の利便性を向上
②事務事	事業の概要	鎌ケ谷市の南北の交通円滑1 我孫子線のバイパスとして県2		便性の向上を図るため、県道船橋 事業を施行する。
からの状況	す析(事業開始 記変化や今後の ・民意向など)	ーートーー たことにより、県道船橋我孫子線の れている。		

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

	令和2 成果	年度の事業	用地取得(A=6	0 m ²)								
2	成果		指标	票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算定根拠	Ī
を	表す	i	都市計画	直路整備延長		12,169	12,169	12,169	m	業務耳	仅得	
指		ii	都市計画	i道路整備率		33	33	33	%	業務耳	仅得	
		iii	「道路の状	況」不満足度		65.7	_	_	%	市民意	急識調査	
3	事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年月	ま決算(事業費	()の主	な内訳	令和3年	度予算
事	業費(न	千円)	7,053	6,281	VIT	金額(千	-円)		内容			10,731
	国支出	出金(千円)					6,281	市町村	負担金	£		
	県支出	出金(千円)										
	市債そ	一の他(千円)	1,800	2,200								7,400
	一般則	វ源(千円)	5,253	4,081								3,331

| 一般財源(千円) IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	境界が未確定	竟界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。 							
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii公平性	3高い	v 総合評価	 7拡充			
❷計Ⅲ	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	V 形口計画	71000			
③上記評価の理由	機能的な道路 路の完成を目		構築や利用者の利 るため。	间便性•安全性	上の向上を	図るべく道			

①令和2年度の計画	地元各坦全	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	地儿女担並	計画事業費	予算額				決算額		
②計画に対する事業実績	地元色坦仝支山			当初	1,000		R1から	2 5 1 1	
	地元貝担並又山		12.738	R1⇒R2繰越	3,694	6.281	の繰越	3,511	
③達成状況	未完了	4,694	12,736	補正	8,044	0,201	現年分	2.770	
4未完了・非着手の理由	事業主体である千葉県が繰			流用·充当		5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、5、		2,770	
サイボ」・作用于の理由	越ししたため	令和3年度への	繰越額(単	位;千円)				4,050	

In the 1 to 1 with 12 to									
事務事業名 新京成線連続立体交差事業			款	項	目	多額 経費			
争勿争未有	初尔风脉连帆立体又左事术	京 成 禄 建 杭 立 体 文 左 争 未							
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	阿川	整	備課			
施策	利便性の高い公共交通体系の充実	担当課室長	松區	司 孝	§樹				

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

で掲げ た内容	早期に周辺整備工事に着工できるよう仮 線撤去工事を進める。
②①に 基づく 取組み	仮線撤去に着手した。

③令和3年 改革·改善

内容

度に取組む 仮線撤去された区域の借地返還及 び周辺整備工事を進める。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

結果

①目的	対象	I 축타 다 6V 4로 무 2로 4호	意図(対象をどう するのか)	関係機関と調整し、高架を実現させる (地元負担金を支払う)。					
②事務事		本市の東西を走る新京成線を 等を解消する目的で、県が事業							
からの状況	コボルム公公の	交通ボトルネックの解消、道路の安全性、生活環境や利便性の向上のため早期に 周辺整備工事を行う必要がある。							

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業 の成果	関連側道、交差道路整備に向け、仮線撤去に着手した。
------------------	---------------------------

_												
(②成果				平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算定根拠		
1	を表す	i		双得済/用地面和		100	100	100	%	業務耳		
ŀ	指標	ii	事業進捗率	(事業費ベース))	86	89	90	%	業務耳)得	
		iii										
		事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和	和2年度	ま決算(事業費	()の主7	な内訳	令和33	丰度予算
4	事業費(-	千円)	399,272	263,039		全額(千	-円)	内容				506,015
	国支出	出金(千円)				2	63,039	市町村	負担金	可		
ı	県支出	出金(千円)										
	市債を	その他(千円)	354,700	215,000								399,400
	一般則	才源(千円)	44,572	48,039						·		106,615

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	交差道路、関連	重側道等の整備	が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	• •	iii 公平性	3高い	v 総合評価	 7拡充		
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		/ J/A / L		
③上記評価の理由	市街地の分断	市街地の分断解消に向け、早期完成が必要であるため。						

①令和2年度の計画	台 坦全	令和2年度事業費の状況(単位;千円)								
① 7 和2 千皮の計画	良足並	計画事業費	予算額				決算額			
②計画に対する事業実績	県に負担金を支出した。			当初	212,729		R1から	224.302		
	宋に真正並を文田した。	212.729	427 021	R1⇒R2繰越	224,302	263.039	00 裸越			
③達成状況	未完了	212,723	437,031	補正		200,000	現年分	38.737		
	キ完了・非着手の理由 越ししたため。			流用·充当			5年7	36,737		
サイボ」・非個十の理由			令和3年度への繰越額(単位;千円)					129,942		

事務事業名	新鎌ケ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
学 勿学未 つ	人中国 四日三年山山山口口 人类京	一般	8	4	3	0
政策	都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	的河	整	備課
施策	安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松區	司 孝	s樹	

改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回 事業推進のため、より多くの交付金を活用 の評価 できるよう、関係機関との連携強化を図 で掲げ る。 た内容 2115

③令和3年 度に取組む 改革·改善 内容

事業推進のため、より多くの交付金 を活用できるよう、関係機関との連 携強化を図る。

97,700

56,789

交付金を活用し、物件補償と用地取得を 取組み実施した。

結果 Ⅱ 事務事業の目的・概要

基づく

①目的	対象		意図(対象をどう するのか)	用地取得を行う。		
②事務事業の概要 新鎌ケ谷地区の東西を連絡する都市計画道路を整備することにより、円滑に通 交通を誘導し、歩行者等の安全性を高める。						
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 新鎌ケ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、 成25年度から本事業を開始した。						

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

	D令和2 D成果	年度の事業	物件補償と用地取得(A=727㎡)を実施した。										
②成果			指标	票名称				令和2 年度	単位	<u>京</u> 算定根拠			
	表す	i	都市計画	都市計画道路整備延長			12,169	12,169	m	業務耶	得 得 識調査		
	旨標	ii	都市計画道路整備率			33	33	33	%	業務耶	(得		
		iii	「道路の状	況」不満足度		65.7	_	_	%	市民意	意識調査		
	多事務事	掌業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年度	ま決算(事業費)の主	は内訳	令和3年度予算		
哥	事業費(千円)		87,467	246,321	117	金額(千			内容		287,315		
	国支出	出金(千円)	42,149	120,971		1	34,866	物件補償費			132,826		
	県支出	出金(千円)	0	0			99,545	用地購	入費		0		
								-17 7-1					

一般財源(千円) Ⅳ 評価・検討

市債その他(千円)

①課題(目的に対す	当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めてい
	く必要がある。

93,300

32,050

8,305 物件調査費

2,240 不動産鑑定費

②評価	i 市関与の妥当性	市関与の妥当性 3高い iii 公平性 3		3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	V 形口計画	771476
I(市内中心部のに図る必要性を		理し、道路利用	者の安全性や	利便性の「	句上を早急

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

37,500

①令和2年度の計画	田地取得	令和2年度事業費の状況(単位;千円)						
① 7 何2 千皮の計画	加地球付	計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地取得、物件補償	100,000	380,755	当初	120,882	- 246,321 -	R1から の繰越 59,00	50.065
				R1⇒R2繰越	59,065			39,003
③達成状況	未完了			補正	200,808		現年分	187,256
	用地取得に係る業務が年度			流用・充当	0			
	内に完了しなかったため。	令和3年度への繰越額(単位;千円)		132,919				